

Windows98 のユーザー補助機能ガイド

目 次

WINDOWS98 のユーザー補助機能について	3
MICROSOFT 拡大鏡	3
1 拡大鏡を使う	3
拡大鏡のショートカットキー	3
拡大鏡のオプション設定	4
2 [Microsoft 拡大鏡]ダイアログボックス	4
ユーザー補助	4
3 ユーザー補助を使うには	4
ユーザ補助のオプションの設定	4
4 [ユーザー補助のプロパティ]ダイアログボックス[キーボード]タブ	4
5 [固定キー機能の設定]ダイアログボックス	5
6 [フィルタキー機能の設定]ダイアログボックス	5
7 [フィルタキー機能の詳細設定] (バウンスキー) ダイアログボックス	5
8 [フィルタキー機能の詳細設定] (リピートキー) ダイアログボックス	6
9 [切り替えキー機能の設定]ダイアログボックス	6
10 [ユーザー補助のプロパティ]ダイアログボックス[サウンド]タブ	6
11 [サウンド表示の設定]ダイアログボックス	7
12 [ユーザー補助のプロパティ]ダイアログボックス[画面]タブ	7
13 [ハイコントラストの設定]ダイアログボックス	7
14 [ユーザー補助のプロパティ]ダイアログボックス[マウス]タブ	8
15 マウスキーでのキー用途対照	8
16 [マウスキー機能の設定]ダイアログボックス	9
17 [ユーザー補助のプロパティ]ダイアログボックス[全般]タブ	9
18 [シリアルキーデバイスの設定]ダイアログボックス	10
ユーザー補助ウィザード	10
19 ユーザー補助ウィザードを使う	10
20 ユーザー補助の設定ウィザードの開始	10
21 テキストサイズ	10
22 ウィザードオプションの設定	11
23 スクロールバーと境界線のサイズ	11
24 アイコンサイズの選択	11
25 色の設定	12
26 サウンド表示	12
27 サウンド解説	12
28 固定キー機能	13
29 バウンスキー機能	13
30 切り替えキー機能	13
31 キーボードの補足ヘルプ	14
32 マウスキー機能	14

33	マウスキー機能 -----	14
34	マウスポインタの選択 -----	15
35	マウスボタンの構成 -----	15
36	マウスポインタの速度 -----	15
37	マウスの軌跡 -----	16
38	自動タイムアウトの設定 -----	16
39	ユーザー補助機能の規定の設定 -----	16
40	構成をファイルに保存 -----	17
41	ユーザー補助の設定ウィザードの完了 -----	17

このガイドは、Windows98 のダイアログヘルプを参考に作成しました。

2001/01/03 制作 柴田 勉

Windows98 のユーザー補助機能について

Windows98 では、障害のある方のための補助機能が用意されています。

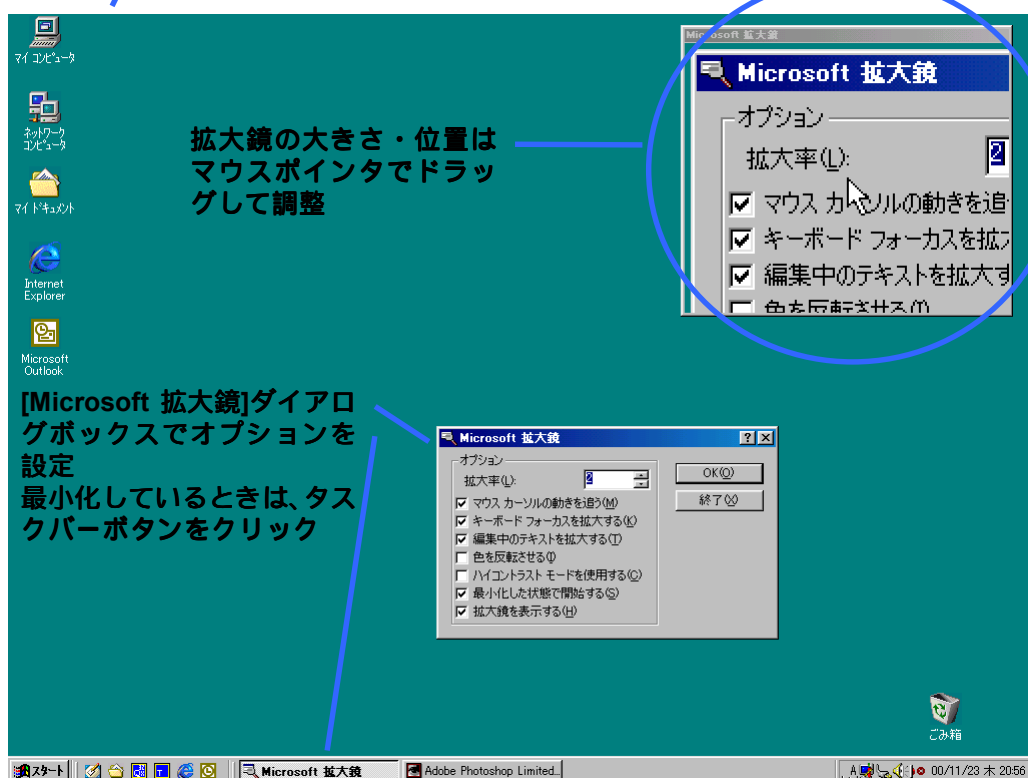
- Microsoft 拡大鏡
画面の一部を拡大する機能
- ユーザー補助
キーボード、マウス、サウンド、画面等の補助機能
- ユーザー補助の設定ウィザード
ウィザード形式で拡大鏡、ユーザー補助およびウィンドウのメニュー等のサイズを設定できる機能

Microsoft 拡大鏡

1 拡大鏡を使う

1. [スタート]ボタンをクリック
2. [プログラム]をポイント
3. [アクセサリ]をポイント
4. [ユーザー補助]をポイント
5. [拡大鏡]をクリック

拡大鏡が起動したデスクトップ



拡大鏡のショートカットキー

[Windows] + [PrintScreen]	画面をクリップボードにコピー（マウスカーソル含む）
[Windows] + [ScrollLock]	画面をクリップボードにコピー（マウスカーソル含まない）
[Windows] + [PageUp]	色を反転させる
[Windows] + [PageDown]	マウスカーソルの動きを追う
[Windows] + [↑]	拡大率を上げる
[Windows] + [↓]	拡大率を下げる

拡大鏡のオプション設定

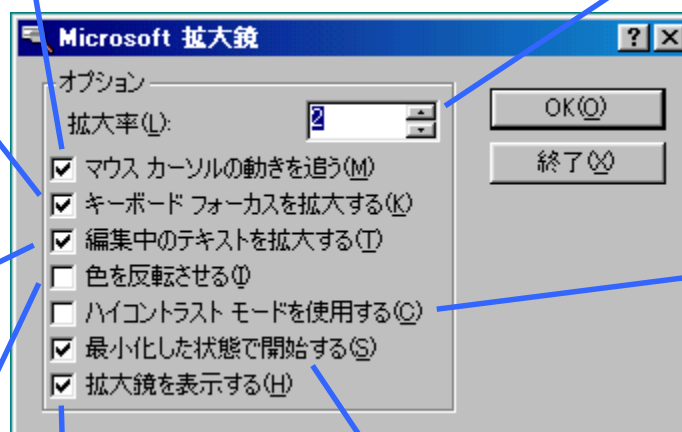
2 [Microsoft 拡大鏡]ダイアログボックス

マウスカーソルの動きに応じて拡大領域を移動

Tab キー、方向キーなどのキーボードのコマンドに応じて拡大領域を移動

入力中のテキスト挿入ポイントの位置に応じて拡大領域を移動

拡大ウィンドウに表示される色を元の色の補色に変更



[拡大率]ボックスでは、拡大ウィンドウの拡大率を、非拡大表示の2～9倍の範囲で設定

プログラムの配色がハイコントラストの配色に変わり、画面が見やすくなる。

拡大鏡の表示

このダイアログボックスを最小化して起動

ユーザー補助

3 ユーザー補助を使うには

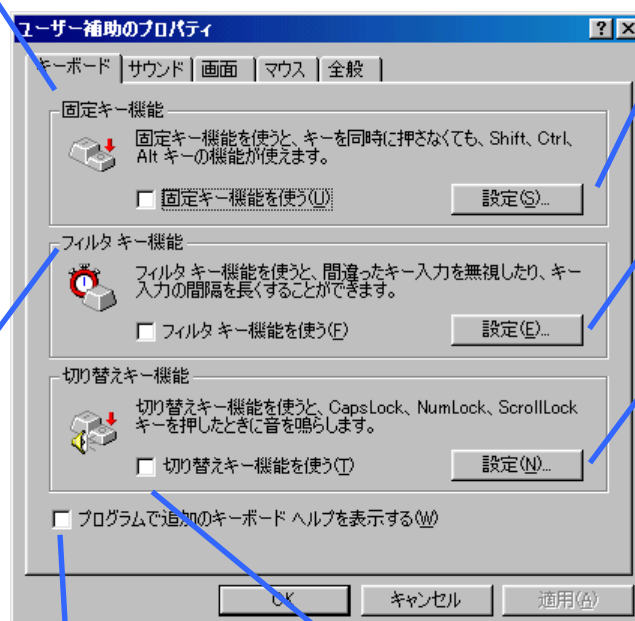
1. [スタート]ボタンをクリック
2. [設定]をポイント
3. [コントロールパネル]をクリック
4. [ユーザー補助]をダブルクリック

ユーザ補助のオプションの設定

4 [ユーザー補助のプロパティ]ダイアログボックス[キーボード]タブ

固定キーを使用できるようにする。この機能を使った場合、Ctrl、Alt、Shift の各キーを押すと、他のキーを押すまで、そのキーが押されたままの状態になる。この機能は、2つのキーを同時に押しにくい場合に便利。

フィルタキーを使用できるようにする。この機能を使った場合、短時間しか押されなかったキーや繰り返し押されたキーは認識されなくなる。また、リピートの感覚を調整すると、キーを押し続けたときに入力が繰り返される感覚を設定できる。



固定キーの設定を変更する。→ 5

フィルタキーの設定を変更する。→ 6

切り替えキーの設定を変更する。→ 9

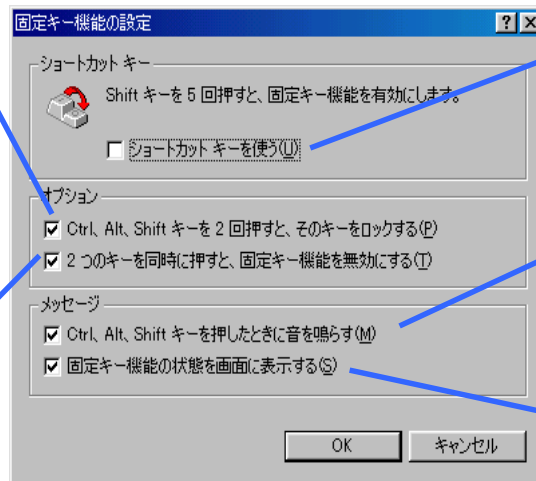
キーボードの使い方についての追加のヘルプがある場合、そのヘルプを表示

切り替えキーを使用できるようにする。この機能を使った場合、CapsLock、ScrollLock、NumLock の各キーをロックすると高音が鳴り、ロックを解除すると低音が鳴る。

5 [固定キー機能の設定]ダイアログボックス

Ctrl、Alt、Shift
の各キーを続け
て2回押すと、次
に同じキーを押
すまで、そのキー
が押されたまま
の状態になるよ
うにする。

Ctrl、Alt、Shift
の各キーと他の
キーを同時に押
すと、固定キーが
無効になる。この
機能は、複数のユ
ーザーが同じコン
ピュータを使う
場合に便利。



固定キーを使うかど
うかを、Shift キーを5回
押すことで切り替えら
れるようにする。

Ctrl、Alt、Shift の各キ
ーを押すか、ロックす
るか、または離すと、
それぞれ別の音が鳴る
ようにする。

固定キーを使っているとき
に、固定キーの状態を表す
インジケータがタスクバーに
表示されるようにする。

6 [フィルタキー機能の設定]ダイアログボックス

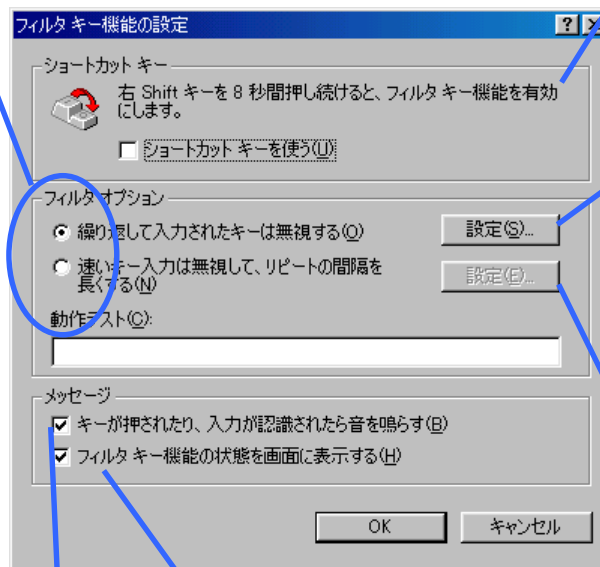
上(バウンスキ
ー)

短時間に同じキ
ーを続けて押し
た場合に、最初の
入力以外が無視
されるように設
定する。同じキー
を何度も押して
しまった場合に
そのすべてが認
識されてしまう
のを防ぐために
便利。

下(リピートキ
ー/スローキー)

短時間しか押し
ていないキーが
無視されるよう
にする。間違って
押したキーが認
識されてしまう
のを防ぐために
便利。

どちらか選択



フィルタキーを使うか
どうかを、右 Shift キー
を8～16秒間押し続
けることで切り替えら
れるようにする。

間違えて押してしま
ったキーが無視され
るようにしたり、リピ
ートの間隔を長くし
たりするための設定を
表示。
→ 7

短時間に同じキーを
続けて押した場合に、
最初の設定以外が無
視されるようにする
ための設定を表示
→ 8

フィルタキーを使っているときに、フィルタキーの状態を
表すインジケータがタスクバーに表示されるようにする。

キーを押したときと、キーの入力が認識されたときにピープ音が鳴る
ようにする。

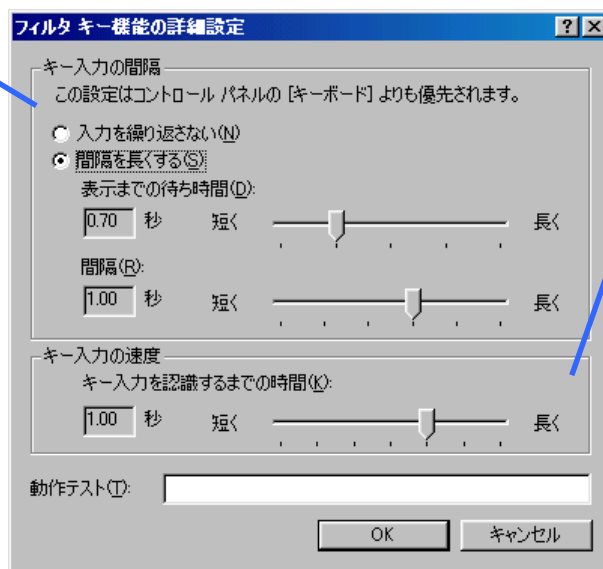
7 [フィルタキー機能の詳細設定] (バウンスキー) ダイアログボックス

キーを繰り返して
入力したい場合
に、次にキーを
押すまでにあけ
なければいけな
い間隔を調整。



8 [フィルタキー機能の詳細設定] (リピートキー) ダイアログボックス

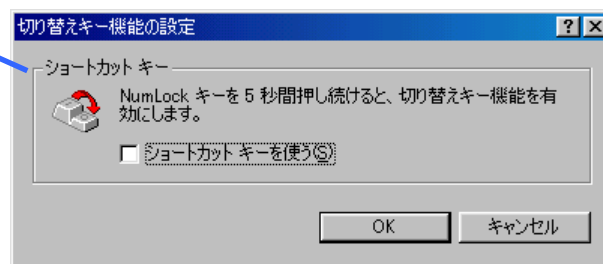
キーを押し続けたときに、文字の入力が繰り返されないようにする。フィルタキーを使っている場合、この設定は、[キーボードのプロパティ]ダイアログボックスの設定より優先。



キーの入力が認識されるまでの時間を調整。ここで設定した時間よりキーを押している時間が短いと、入力は認識されない。

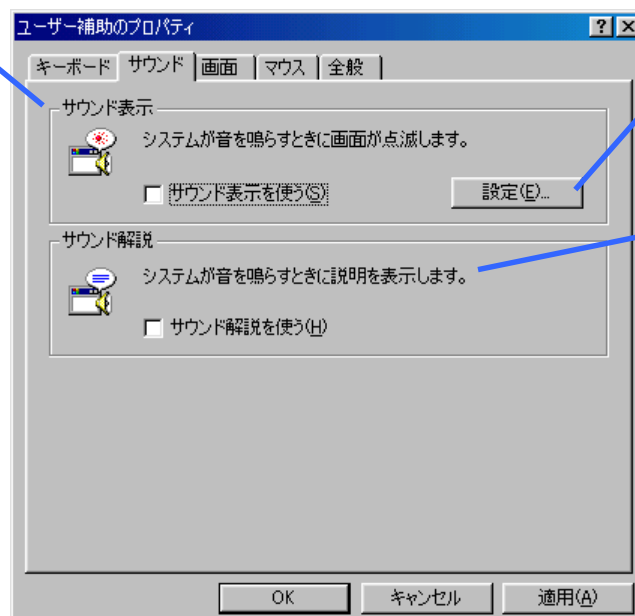
9 [切り替えキー機能の設定]ダイアログボックス

切り替えキーを使うかどうかを、NumLockキーを5秒間押し続けることで切り替えられるようにする。



10 [ユーザー補助のプロパティ]ダイアログボックス[サウンド]タブ

サウンド表示を使用できるようにする。この機能を使うと、システムの内部スピーカーが鳴ったときに、画面の一部が点滅する。点滅する部分を指定するには設定をクリック。

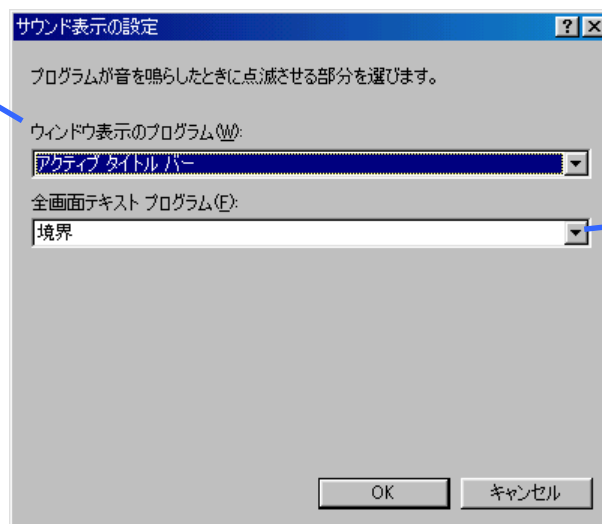


サウンド表示の設定を変更する。
→ 11

サウンド解説を使用できるようにする。この機能を使うと、通常は音だけで情報が伝わるプログラムでも、説明やアイコンが表示され、画面から、すべての情報が伝わるようになる。

11 [サウンド表示の設定]ダイアログボックス

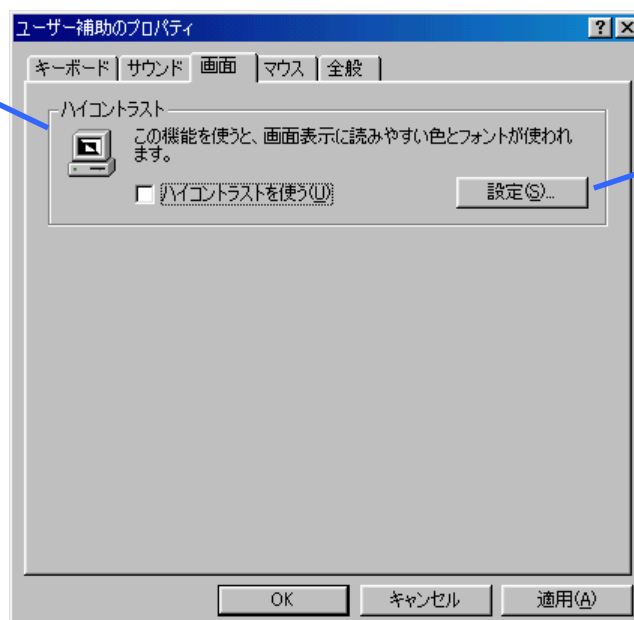
ウィンドウ表示のアプリケーションを使っている場合に、システムの内部スピーカークの音が鳴ったときに画面で点滅する場所を指定。



全画面表示のテキストアプリケーションを使っている場合に、システムの内部スピーカークの音が鳴ったときに画面で点滅する部分を指定。

12 [ユーザー補助のプロパティ]ダイアログボックス[画面]タブ

プログラムで指定された配色の変わりに[ハイコントラストの設定]ダイアログボックスで指定した配色に変更する。

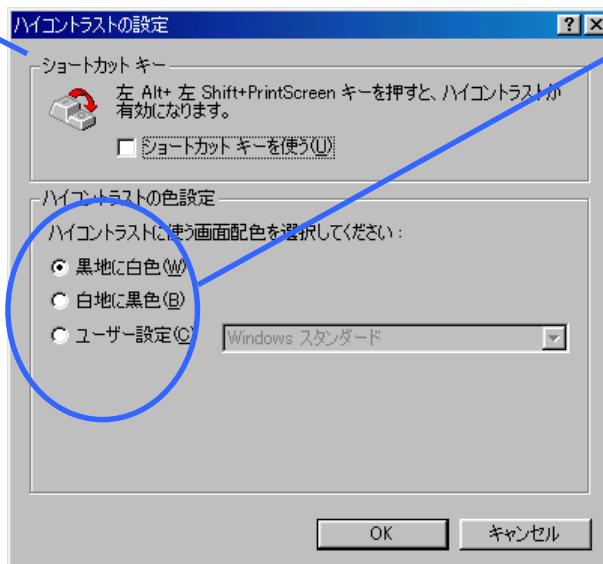
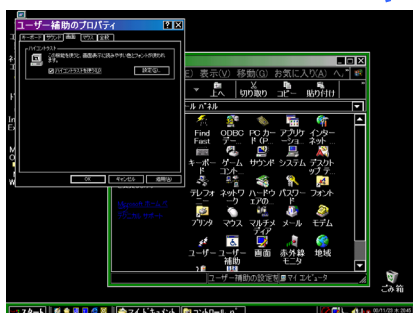


ハイコントラストの設定を変更する。→13

13 [ハイコントラストの設定]ダイアログボックス

ハイコントラストの配色とオリジナルの配色を切り替えられるようにする。

ハイコントラストを設定したデスクトップ



ハイコントラストに切り替えたときに使用する配色を指定する。[画面のプロパティ]ダイアログボックスでハイコントラストの配色をカスタマイズすると、配色の一覧でその配色を選択することができる。

14 [ユーザー補助のプロパティ]ダイアログボックス[マウス]タブ

マウスキーを使用できるようにする。この機能を使うと、マウスポインタの移動、クリック、ダブルクリック、およびドラッグがテンキーでできるようになる。



マウスキーの設定を変更する。
→ 16

15 マウスキーでのキー用途対照

Num Lock	/	*	—
7	8	9	+
4	5	6	
1	2	3	Enter
0 Ins	Del		

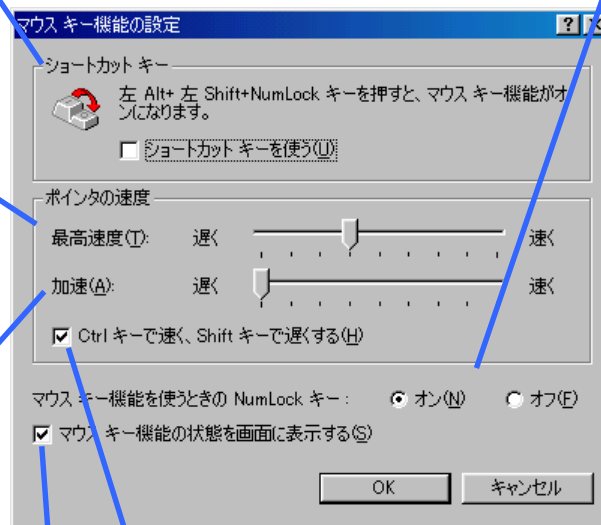
Num Lock	左ボタン	両方のボタン	右ボタン
↖	↑	↗	Double Click
←	Click	→	
↙	↓	↘	Enter
ボタンを押す	ボタンを離す		

16 [マウスキー機能の設定]ダイアログボックス

マウスキーを使うかどうかを、左 Alt + 左 Shift + NumLock キーを押すことで切り替えられるようにする。

マウスキーの方向キーを押し続けたときに、マウスポインタが動く最高速度を指定

マウスキーの方向キーを押し続けたときに、マウスポインタの速度が最高に鳴るまでの加速度を指定



テンキーをマウスキーとして使うときに、NumLock キーの設定を ON にするか、または、OFF にするかを設定。ON にした場合、NumLock キーを押すと、マウスキーと標準のテンキーの機能を切り替えることができる。テンキーをデータの入力にも使う場合は、[オフ]をクリックする。テンキーをマウスポインタの移動と、Ins キーおよび Del キーとして使う場合は、[オン]をクリックする。

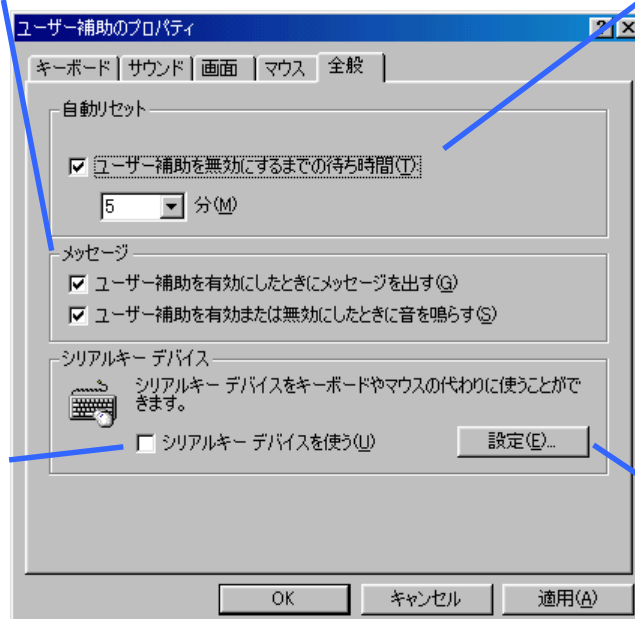
マウスキーを使っているときに、マウスポインタの移動速度を Shift キーと Ctrl キーで一時的に変更できるようにする。ポインタの移動速度を遅くするには、Shift キーを押しながらマウスキーの方向キーを、早くするには、Ctrl キーを押しながら、マウスキーの方向キーを押す。

マウスキーの状態を表すインジケータがタスクバーに表示されるようにする。

17 [ユーザー補助のプロパティ]ダイアログボックス[全般]タブ

ユーザー補助機能の有効と無効をショートカットキーで切り替えるたびに、確認のメッセージが表示されるようにする。これは、ユーザー補助機能を誤って有効にしてしまう可能性があるときに、ユーザーに警告するための機能。

シリアルキーデバイスを使用できるようにする。この機能を使うと、コンピュータのシリアルポートに標準以外の入力デバイス（拡張通信デバイス）を接続できる。この機能は、標準のキーボードとマウスが使いにくい場合に便利。



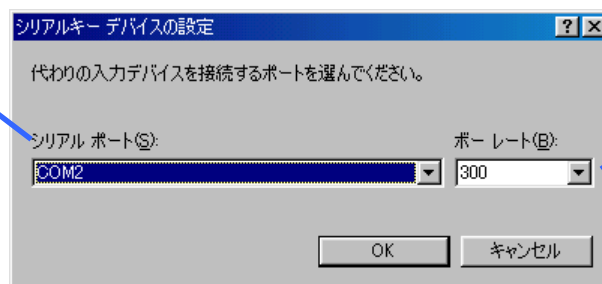
一定の時間コンピュータを放置しておくと、固定キー、サウンド表示、マウスキー、フィルタキー、およびハイコントラストが無効になるようにする。ただし、シリアルキーデバイスの機能は無効にならない。この設定は、複数のユーザーが同じコンピュータを使っている場合に便利。

シリアルキーデバイスの設定を変更するときにクリックする。代替の入力デバイスの接続方法や通信方法を設定。

→ 18

18 [シリアルキーデバイスの設定]ダイアログボックス

代替の入力デバイスを接続するポートを表示



代替の入力デバイスのボーレートを表示

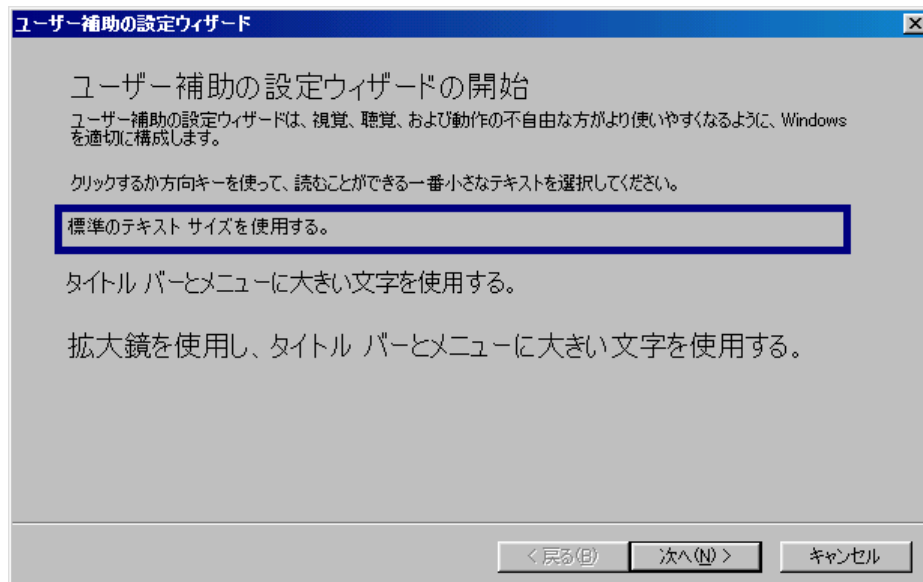
ユーザー補助ウィザード

19 ユーザー補助ウィザードを使う

1. [スタート]ボタンをクリック
2. [プログラム]をポイント
3. [アクセサリ]をポイント
4. [ユーザー補助]をポイント
5. [ユーザー補助ウィザード]をクリック

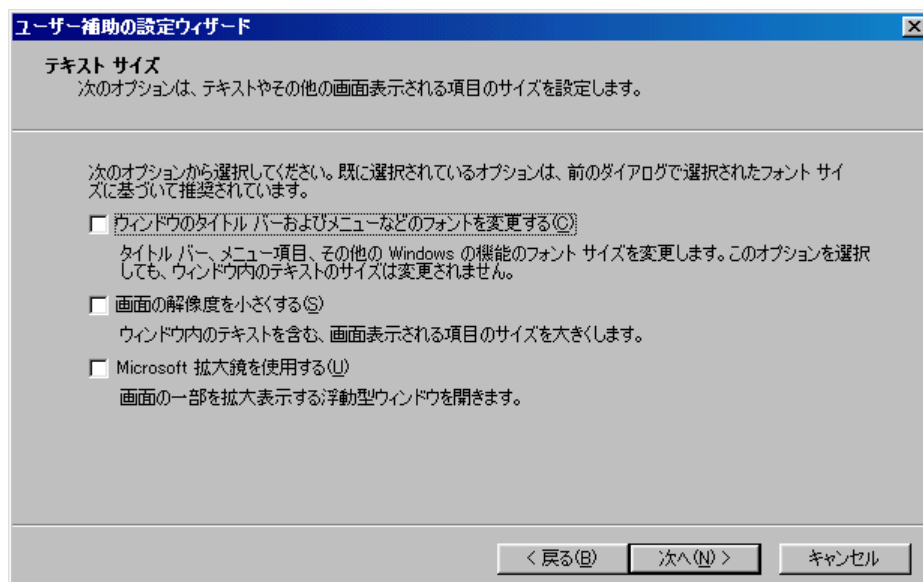
20 ユーザー補助の設定ウィザードの開始

20 での選択が
21 に反映する。



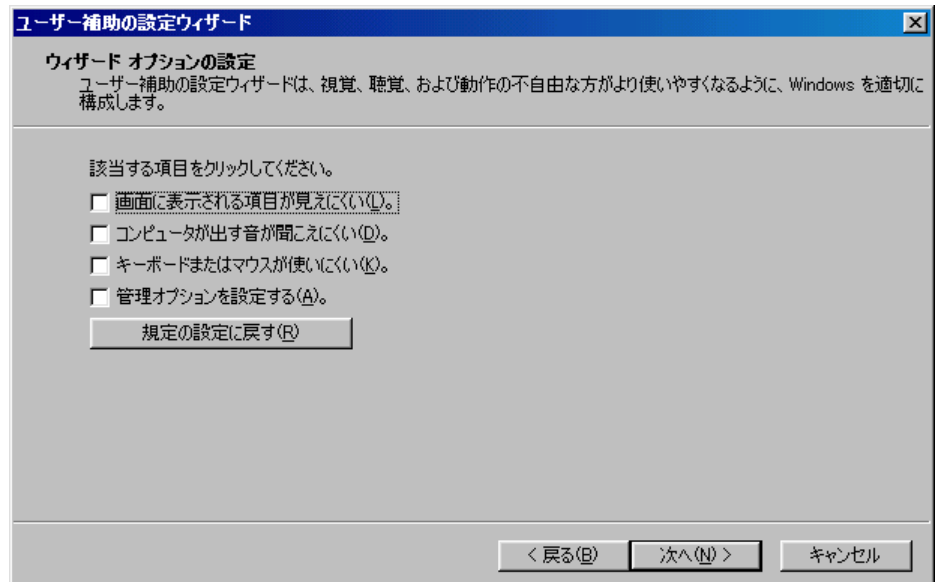
21 テキストサイズ

必要なものを
ON にする。
Microsoft 拡大
鏡→1



22 ウィザードオプションの設定

必要なものを
ONにする。



23 スクロールバーと境界線のサイズ

使用しやすいス
クロールバーの
サイズを選択。



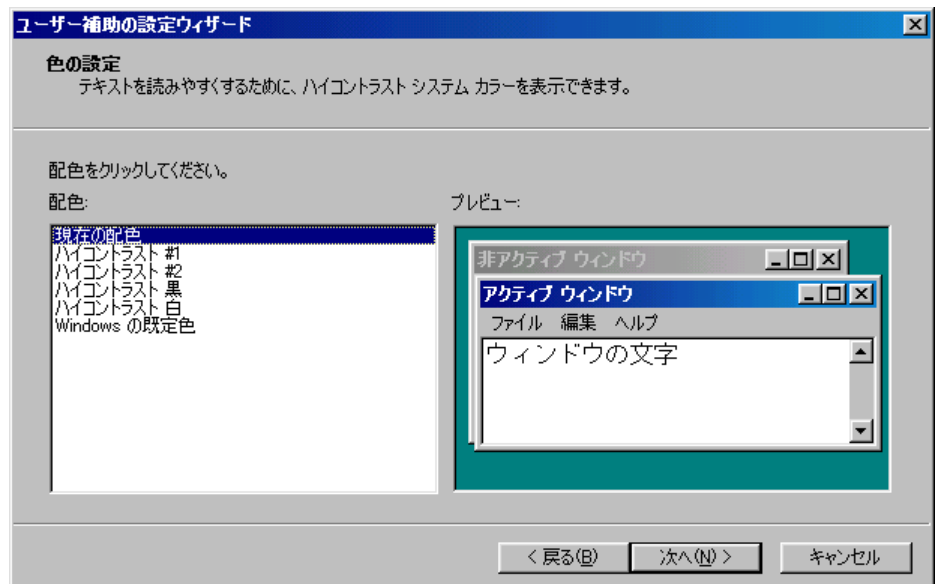
24 アイコンサイズの選択

見やすいアイコ
ンのサイズを選
択。

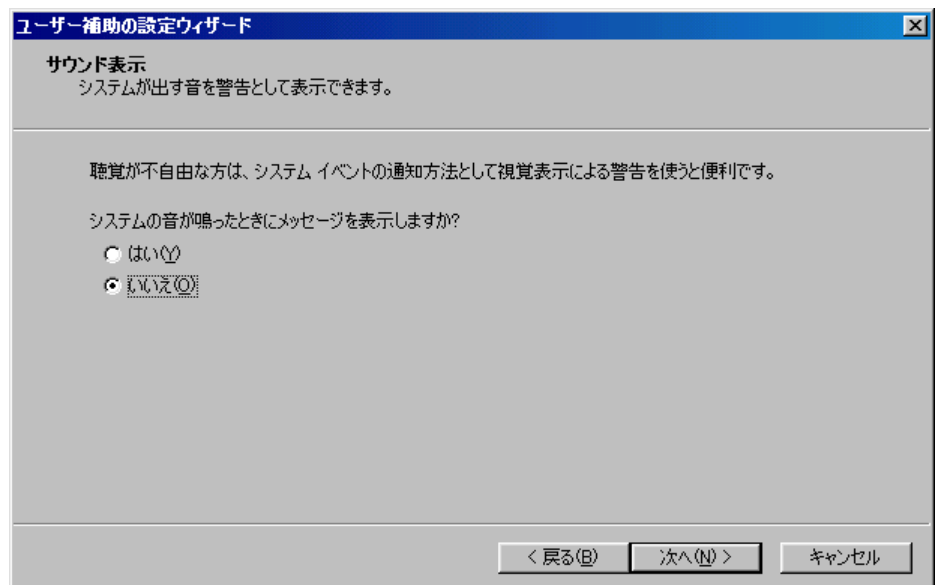


25 色の設定

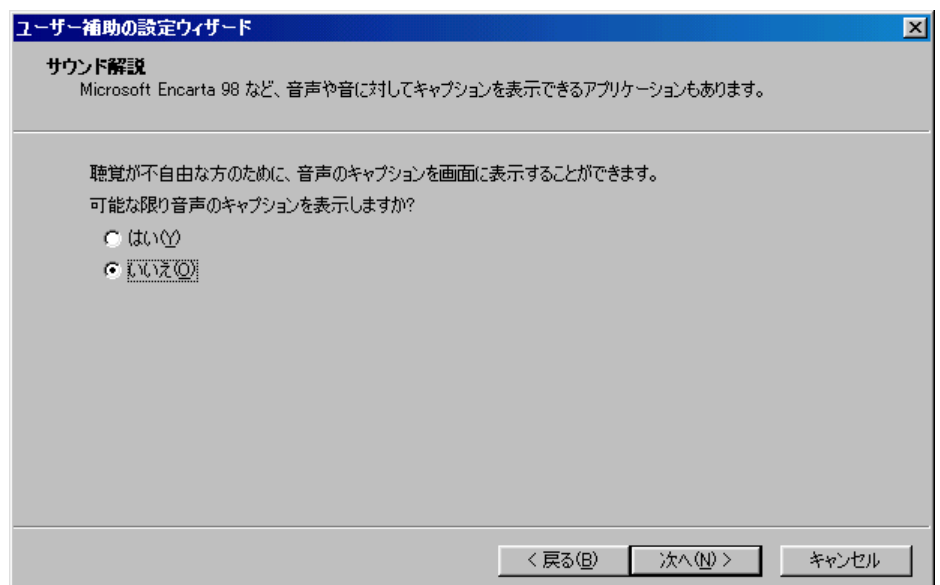
ハイコントラスト ト→13



26 サウンド表示



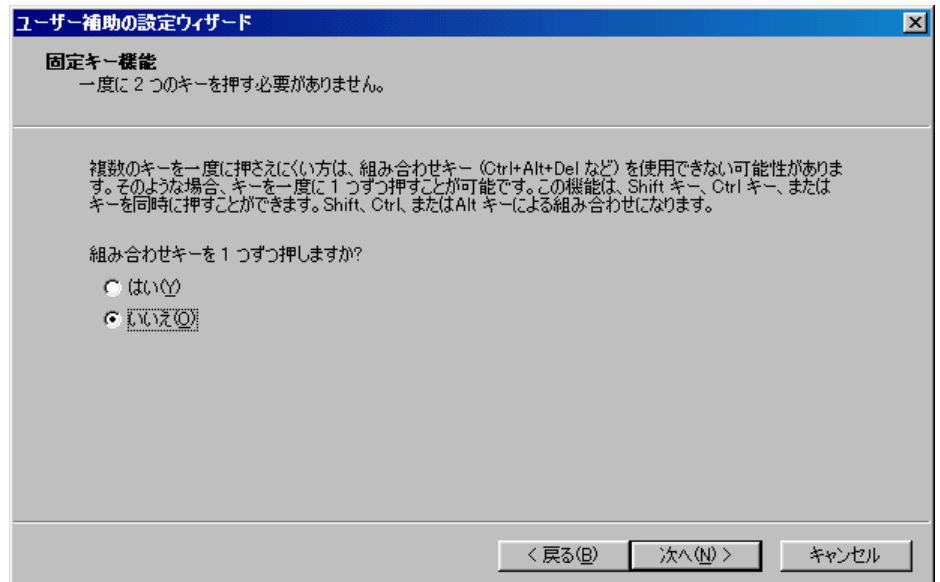
27 サウンド解説



28 固定キー機能

固定キー機能

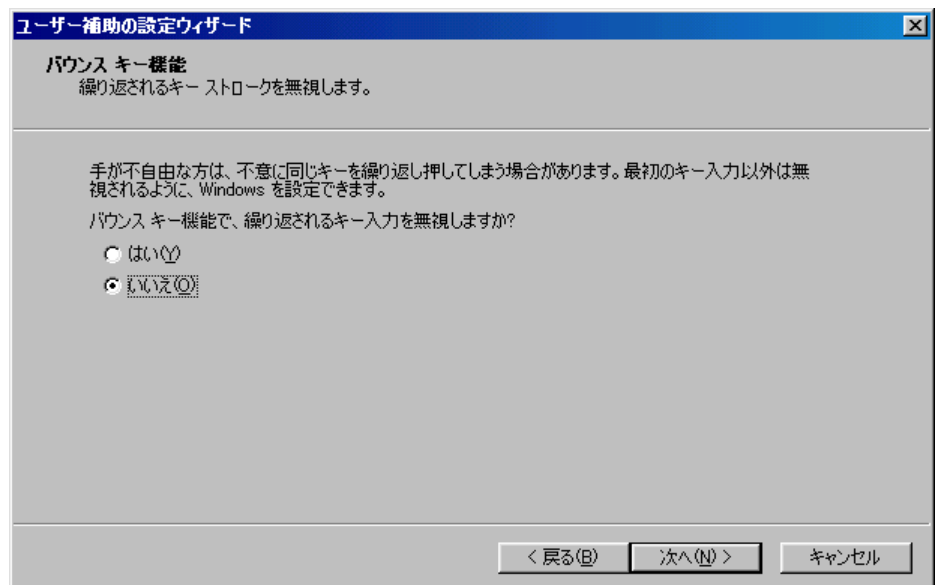
→ 4 → 5



29 バウンスキー機能

バウンスキー機能

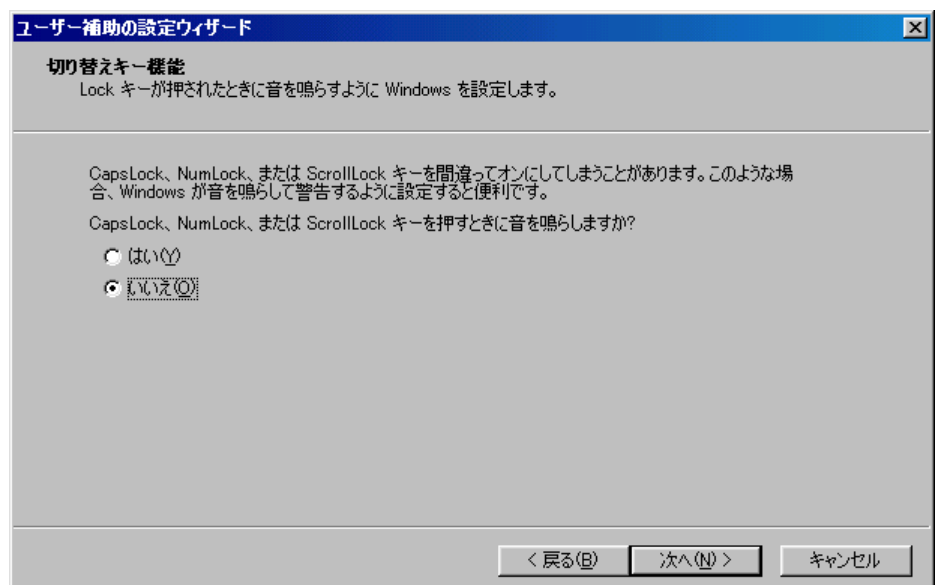
→ 4 → 6



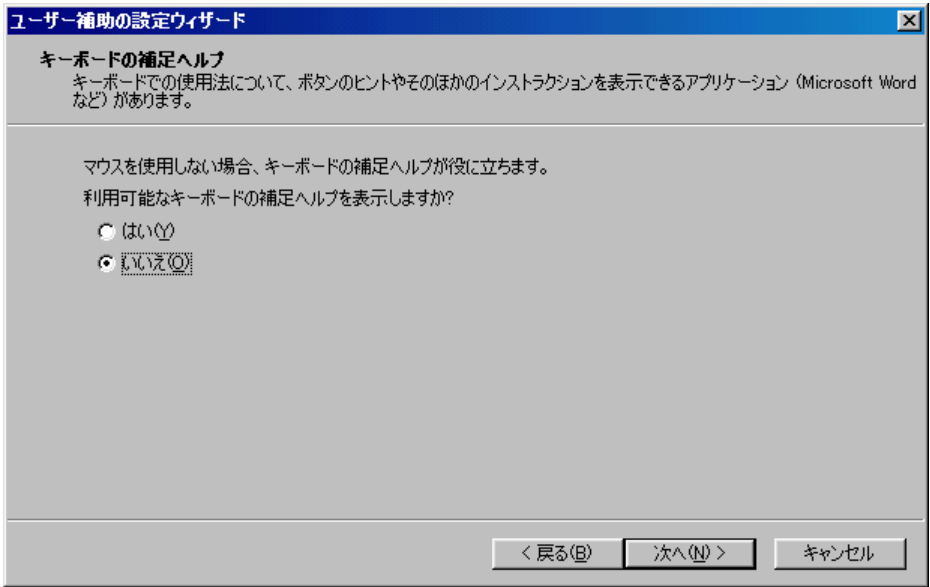
30 切り替えキー機能

切り替えキー機能

→ 4 → 9



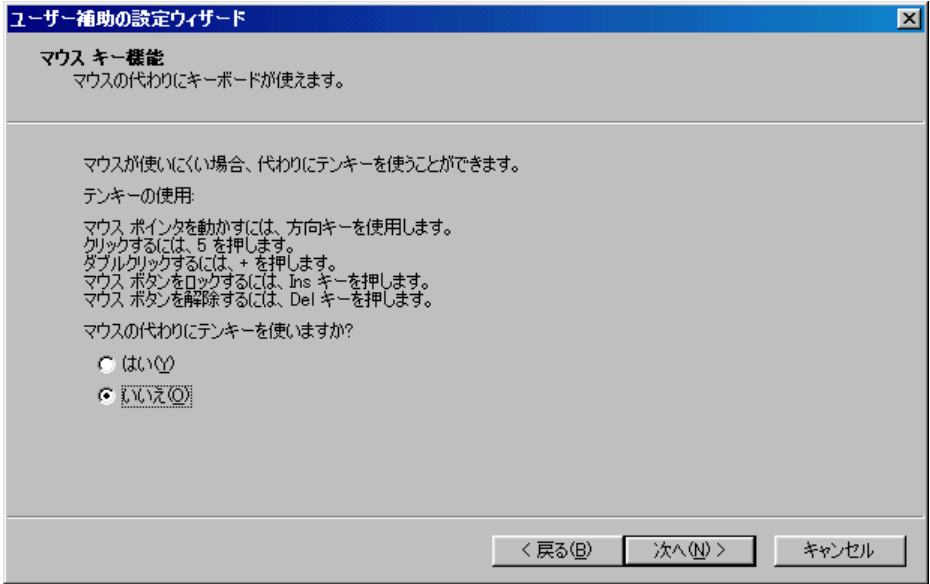
31 キーボードの補足ヘルプ



32 マウスキー機能

マウスキー機能

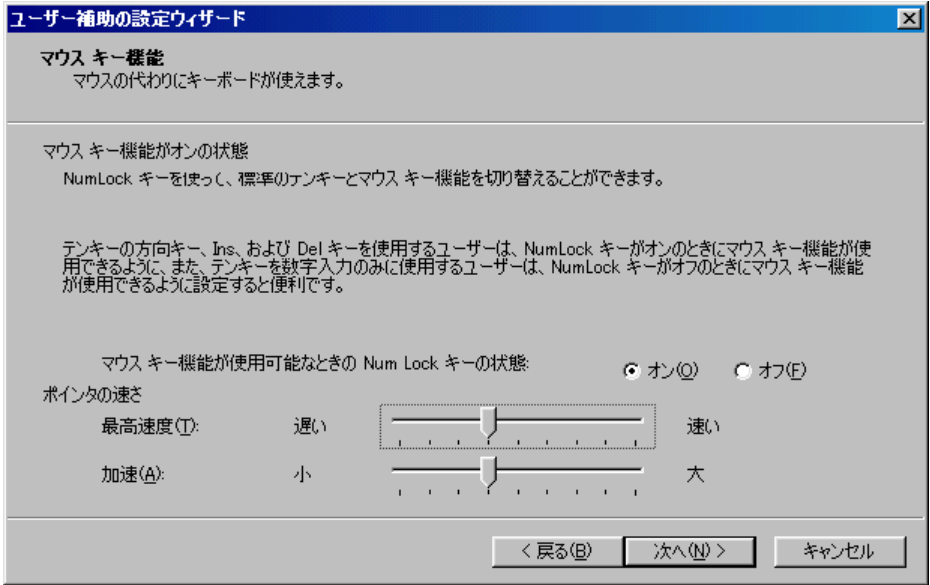
→ 14 → 16



33 マウスキー機能

マウスキー機能

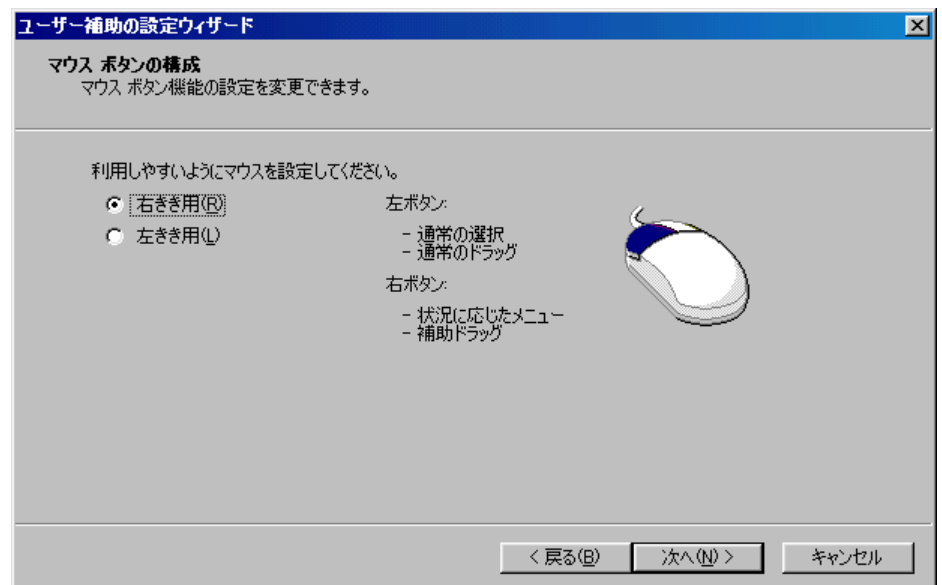
→ 14 → 16



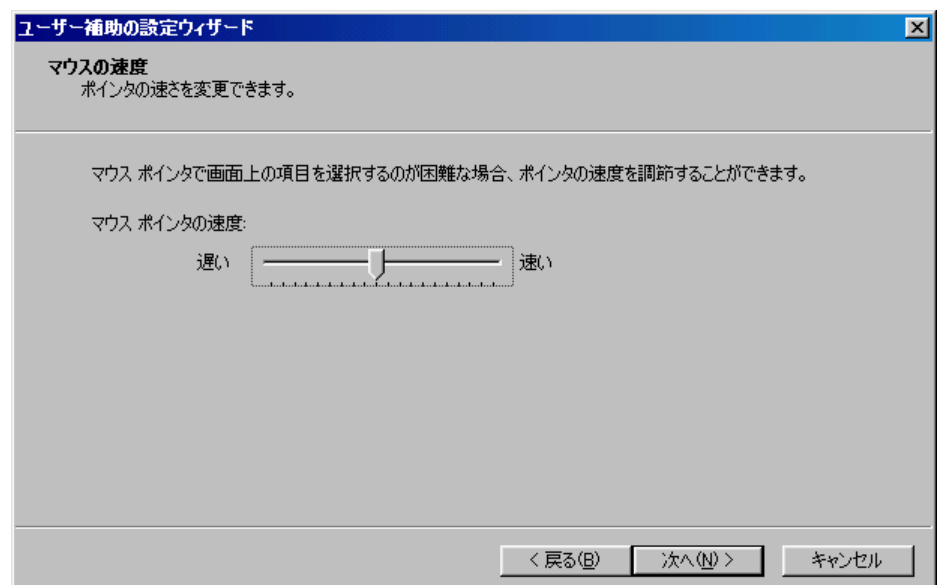
34 マウスポインタの選択



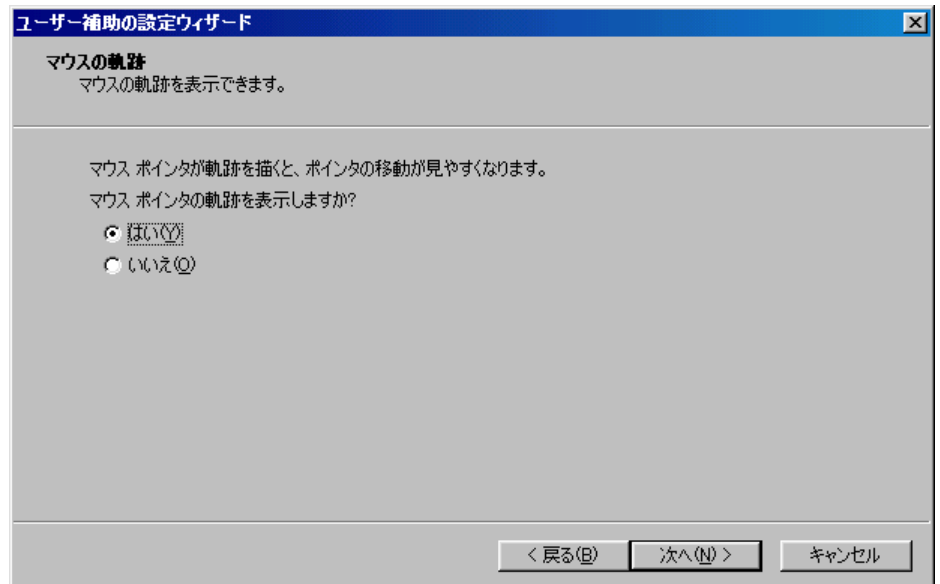
35 マウスボタンの構成



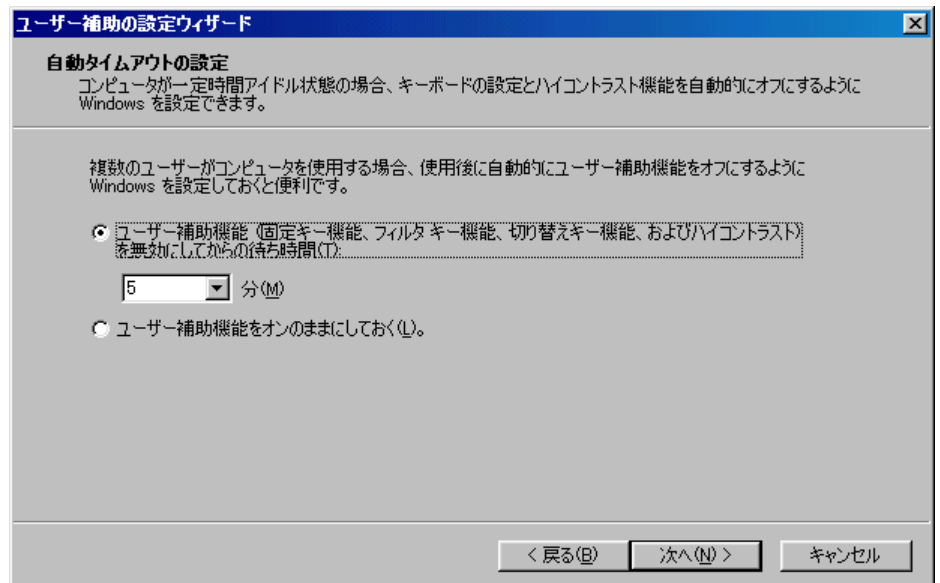
36 マウスポインタの速度



37 マウスの軌跡

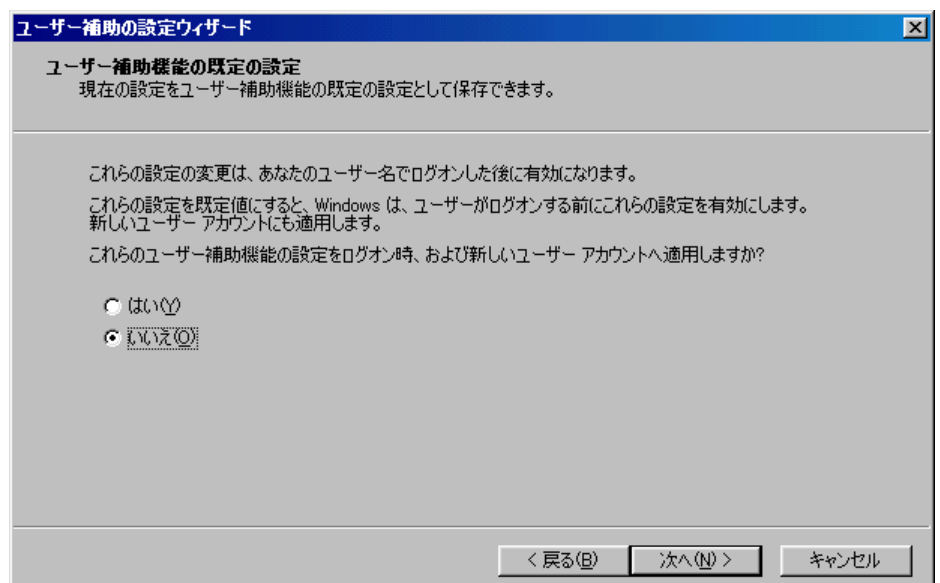


38 自動タイムアウトの設定



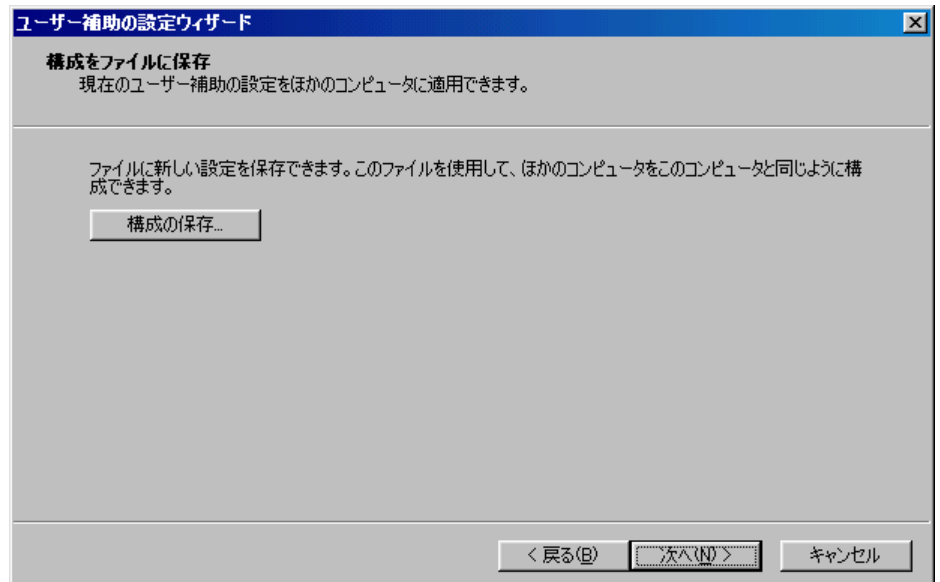
39 ユーザー補助機能の規定の設定

ユーザー補助機能の設定を使っているパソコンの既定値にするか、否かを選択。



40 構成をファイルに保存

設定した構成を
ファイルに保存
して、他のコン
ピュータで使え
るようにする。



41 ユーザー補助の設定ウィザードの完了

